

ほくほく鬼北 家族の絆

人から人につなぐ絆リレー

No.21

仲良し家族を繋ぐ信頼の輪

今城

裕希

さん

裕子

さん

心那

ちゃん

衣央

那

くん

眞一

さん

文代

さん



下鍵山に住む今城さん家族。「休日は家にいない」というほどアクティブな家族です。

負けず嫌いで努力家の心那ちゃんとまだまだ甘えん坊の衣央那くん。マイペースな2人は喧嘩をしてしまうこともしばしば。しかし最近では、心那ちゃんが我慢することもあるそうで、「人に優しい友達の多い子に」という両親の願いどおり、優しいお姉ちゃんの一面が芽生え始めています。

「子守りも家事も手伝う優しく、無口な」裕希さんと、「明るく誰とでも仲良くなれる」裕子さん。お互いを補い合うような夫婦の形は、そんな2人だからこそ築かれてきたもの。また裕子さんは、文代さんとも本当の親子に見られるほど仲が良く、信頼し合った関係を築いています。文代さん自身も、お義母さんとは仲が良かつたそうで、そこには義母から嫁へと受け継がれていく「思いややの心」がありました。

「どこに行くにもいつも一緒」の今城さん家族。「いつも子どもを叱つてばかり」と話す裕子さんですが、それも深い愛情があるからこそ。「家のなかいつでも笑い声が聞こえる家族になりたい」と話す今城さん家族の家には、裕子さんと文代さんを中心にも明るい笑顔が溢れています。

次回は家族ぐるみの付き合いがある山下修さんご家族です。

▼町内では、今回取材をした「富母里神楽」を始め、「亥の子」などといった伝統的な光景を目にすることが多くありました。長年受け継がれてきた技、そこに込められた人々の思い。そしてそれらが、いつの時代になつても人々の心を惹きつけ、自然と人が集まつてくる。人の思いの強さがあるからこそその光景なのだと思いました。

▼今月号に掲載した鬼北町防災訓練。訓練してみて初めて気づく問題点も多くありました。実際に災害が起きたときには、より想定外のことが起こるはずです。少しでも冷静に、迅速に対処できるよう、「今できること」から始めることが大切だと感じました。

▼新たな一年が始まります。私の今年の目標は、「計画性を持つこと」「したことに」を一つでも多く達成するためには、まずは「」から始めようと思います。（菜）